

築城則子染織展

— 縞百姿遊びをせむとや —



会期 4月17日(金)ー26日(日)
会場 和光本館6階和光ホール

10時30分ー19時
最終日は17時まで



このたび、日本工芸会正会員の染織家・築城則子さんによる和光では7年ぶり4回目の個展を開催いたします。築城さんは江戸期からの伝統的な織物である「小倉織」や「小倉縮^{ちぢみ}」を現代に甦らせ、そこに独自の創意を加え多彩な「縞^{かじり}」の世界を展開しています。単なる再現ではなく、より細く、より数の多い経糸^{たて}を用いて織細さを加え、多彩な色の組合せと縞の構成に工夫を凝らして独創的な「小倉織」を極めていきます。用いる染料は、工房の周囲に広がる里山の豊かな自然の恵みを受けた植物から採取しています。互いを尊重しあう植物染料で染められた糸は透明感と深みがあり、冴えた色が隣り合う色と影響しあって縞をより際立たせます。今展では“縞百姿遊びをせむとや”というテーマの通り、まさに100種の縞^{かじり}の変化を会場に展開させます。研ぎ澄まされた感性で織り上げられた絶妙な配色をみせる小倉織の帯40点に加え、片身替りなど洗練された意匠と風合を備えた紬や練貫・縮の着物、着尺20点、そのほかに軸装・額装・漆箱などの生活空間を豊かにするオリジナリティーあふれる作品など、合わせて70余点の出品です。さらに、現在日本工芸会で活躍する江戸切子の小川郁子さん、竹工芸の本田青海さんという若手工芸家2名による作品と創る「和の装いのコラボレーション」の展観も加わり、彩りを添えます。築城則子さんによる響き合う斬新な「縞」の世界を、ぜひご高覧ください。

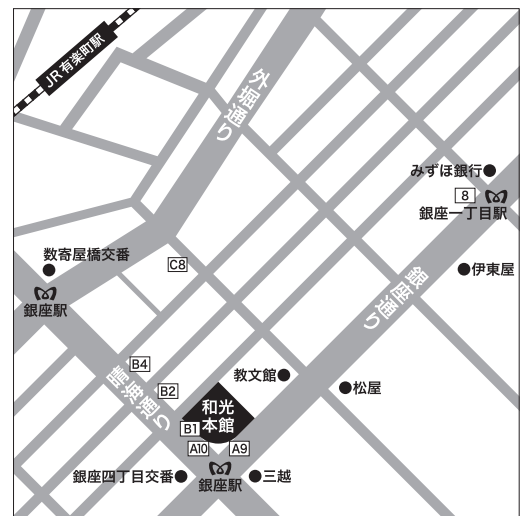


会場にて築城則子さんによるギャラリートークを予定しております。
4月18日(土) 14:00 ~

ついきのりこ 築城則子 略歴

- 1952年 福岡県北九州市に生まれる
- 1974年 早稲田大学文学部中退
染織研究所で染織の基本を学んだ後、久米島、信州などで紬織を学ぶ
- 1984年 小倉織復元
- 1994年 小倉縮復元
- 1995年 遊生染織工房設立
- 1996年 北村武資氏による「羅」の伝承者養成研修会に参加
- 1999・2003・13年 「築城則子染織展」(和光ホール)
- 2004年 「非情のオブジェー現代工芸の11人-」に出品(東京国立近代美術館工芸館)
- 2005年 伝統文化ポラ賞優秀賞受賞
- 2007年 文化庁芸術家海外派遣制度の特別派遣としてロンドンにて研修
- 2008年 日本伝統工芸染織展 文化庁長官賞受賞
- 2010年 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞受賞
- 2014年 小倉織復元30周年「築城則子 一縞の今一」(北九州市立美術館分館)
- 2015年 「工芸の現在」展 第一回菊池寛実賞受賞(菊池寛実記念 智美術館)
- 2016年 ミラノデザインウィーク2016「Parabolic Stripes」出展(ミラノ大学/イタリア)
- 2018年 文化庁 地域文化功労者表彰受賞
- 2019年 「パッション20 今みておきたい工芸の想い」に出品(東京国立近代美術館工芸館)

右上／練貫着物「藤襲^{ふじがきね}」
表面／上より 小倉縞帯「紫翠邂逅」、「櫻邂逅」



銀座四丁目に位置し、銀座のシンボルとして知られている和光本館。その6階にある和光ホールでは、絵画、陶芸、漆芸、書、染織などの美術工芸品を紹介するさまざまな展覧会を開催しています。

● 展覧会のご案内
www.wako.co.jp/exhibitions/

〒104-8105 東京都中央区銀座4丁目5-11
(03) 3562-2111 www.wako.co.jp

